証券コード●4559

第62期

株主通信

平成27年4月1日～平成28年3月31日

Contents

株主の皆様へ…… P.1
営業の概況（連結）…… P.3
研究開発の状況…… P.5
研究開発パイプライン…… P.6
生産物流の状況／次期の見通し…… P.7
株主様ご優待のお知らせ…… P.8
トピックス…… P.9
財務諸表（連結）…… P.11
会社情報…… P.13
株式情報…… P.14
株主メモ

ゼリア新薬
ZERIA

株主の皆様へ

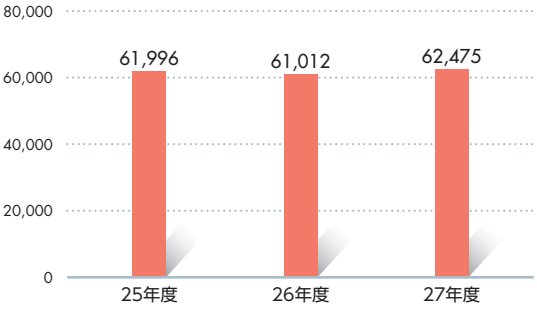
代表取締役会長兼CEO
伊 部 幸 顕

代表取締役社長兼COO
伊 部 充 弘

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
また、このたびの熊本地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。なお、当社は被災された方々の救援と被災地の復旧にお役立ていただくため、日本赤十字社を通じて1,000万円の義援金を寄付いたしました。被災地の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。
第62期の事業概況に関しまして、ここにご報告させていただきます。

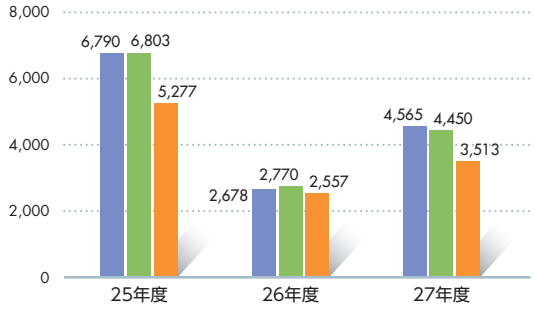
売上高

（単位:百万円）



営業利益（■）／経常利益（■）／
親会社株主に帰属する当期純利益（■）

（単位:百万円）



当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調を辿ってまいりましたが、年度後半に至り、個人消費の伸び悩みや中国など新興国の経済成長の鈍化、円高の進行などによって、先行きに対する不透明感が増大する状況となりました。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品は、医療費抑制策の一環として後発医薬品の使用が従来にも増して強力に推進されており、またOTC医薬品市場におきましても市場競争の激化が続いており、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、平成26年度を起点とする３ヵ年の第８次中期経営計画（平成26年度～平成28年度）の２年目にあたる当連結会計年度において、引き続き経営資源の積極的な投入を行い、平成27年７月、当社の100％子会社であるTillotts Pharma AGが、AstraZenecaより同社が製造販売している炎症性腸疾患治療剤「Entocort®」の米国を除く全世界における権利を取得しました。また、平成27年９月にベトナムの医薬品製造販売会社であるPharmaceutical Joint Stock Company of February 3rdの発行済株式の49％を取得し、アジアにおける事業展開の第１歩を踏み出しました。このようにグローバル企業としての基盤強化を着実に進めるとともに、従来より「車の両輪」と捉えております医療用医薬品事業とコンシューマーヘルスケア事業を強力に推進してまいりました。

これらの活動の結果、当連結会計年度は、売上高624億75百万円（前期比2.4％増）、営業利益45億65百万円（前期比70.4％増）、経常利益44億50百万円（前期比60.7％増）、親会社株主に帰属する当期純利益35億13百万円（前期比37.4％増）となりました。

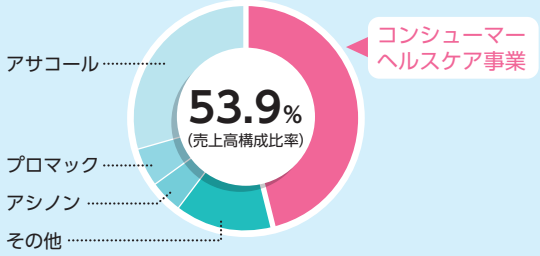
なお、当連結会計年度の海外売上高比率は20.0％（前期17.2％）となっております。

医療用医薬品事業

売上高

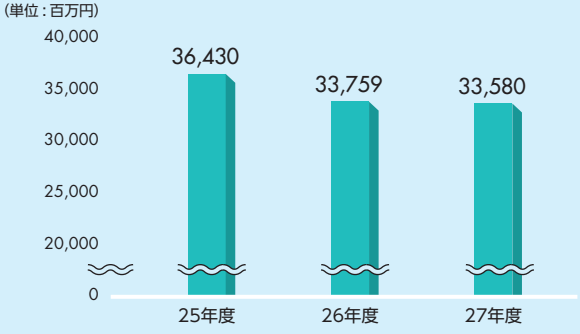
335億80百万円（前期比 ▶ 0.5%減）

主要製品売上高



アサコール	182.5億円
プロマック	34.3億円
アシノン	29.6億円

医療用医薬品事業連結売上高



当事業におきましては、プロモーションコードの遵守を基本に、MR（医薬情報担当者）の資質の向上と学術情報活動の一層の充実を図ってまいりました。

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」は、国内においては順調に売上を拡大いたしましたが、海外において昨年1月に実施されたスイス中央銀行によるスイスフランの対ユーロ為替上限レートの撤廃に伴うスイスフラン高の影響を受けたことから、全体としては売上は横這いに止まりました。また、H_2受容体拮抗剤「アシノン®」、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック®」などの製品は、後発医薬品の使用促進の影響を受けて苦戦いたしました。機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド®」につきましては、市場構築が計画比遅れる状況となっておりますが、医療機関における疾患および治療法などの認知度を高めることにより進展を図っております。

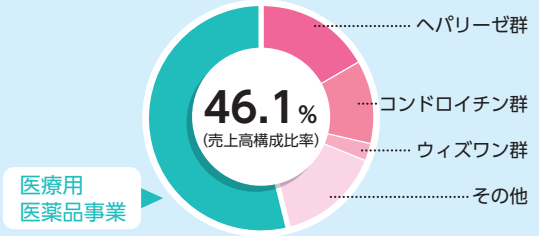
これらの結果、当事業の売上高は、335億80百万円（前期比0.5%減）となりました。なお、「Entocort®」は権利を取得した第3四半期より当連結会計年度の売上、利益に貢献しておりますが、今後当事業の主力製品に育成してまいります。

コンシューマーヘルスケア事業

売上高

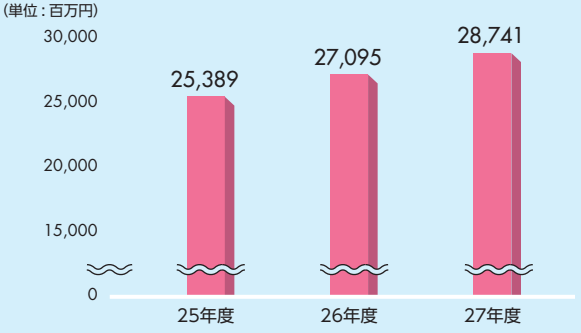
287億41百万円（前期比 ▶ 6.1％増）

主要製品売上高



ヘパリーゼ群	105.2億円
コンドロイチン群	74.1億円
ウィズワン群	16.0億円

コンシューマーヘルスケア事業連結売上高



当事業におきましては、超高齢社会が進展する中、生活者のセルフメディケーションをサポートする製品の供給を通じて市場構築を進めてまいりました。

主力製品群である「ヘパリーゼ®群」につきましては、テレビCMなどの広告宣伝活動を積極的に展開した結果、製品認知度がさらに向上し、売上を拡大いたしました。なお、コンビニエンスストア向けの「ヘパリーゼ®W群」の製品ラインアップ強化のため、平成27年6月に「ヘパリーゼ®Wスパークリング」（炭酸飲料）を、平成28年3月に「ヘパリーゼ®Wプレミアム」（清涼飲料水）を発売いたしました。また、OTC医薬品の滋養強壮剤「ヘパリーゼ®」シリーズの強化のため、平成27年10月に「ヘパリーゼ®プラスⅡ」を発売いたしました。「コンドロイチン群」につきましては、医薬品としての有効性、安全性、高品質を訴求し、健康食品との違いを明確にした販売活動を行った結果、引き続き圧倒的な市場シェアを堅持いたしました。なお、「コンドロイチンZS錠®」につきましては、平成27年10月に錠剤を小型化し服用感を改善した製品を発売いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、287億41百万円（前期比6.1％増）となりました。

OTC医薬品

ヘパリーゼ®Wシリーズ

研究開発の状況

研究開発部門におきましては、自社オリジナル品の海外での臨床試験を積極的に推進するとともに、海外で実績のある薬剤を導入し、国内での開発を進めております。

最重点領域である消化器分野の新薬パイプライン強化に取り組む中で、「Z-206(アサコール®)」は、協和発酵キリン株式会社と共同で潰瘍性大腸炎を対象とした、用法・用量を追加するフェーズⅢを実施してまいりましたが、同試験を終了し、承認申請の準備を進めております。また、中国での開発につきましては、フェーズⅢを終了し、平成25年5月に承認申請を実施済みであります。

自社オリジナル品の「Z-338(アコファイド®)」につきましては、欧州において機能性ディスペプシアを対象としたフェーズⅢを実施しております。

エーザイ株式会社から導入した長時間作用型プロトンポンプ阻害剤「Z-215」につきましては、逆流性食道炎を対象としたフェーズⅡを実施しております。

「Z-100」につきましては、子宮頸癌を対象として、日本を含むアジア地域におけるフェーズⅢ国際共同治験を実施しております。

「Z-360」につきましては、膵臓癌を対象として、日本を含むアジア地域におけるフェーズⅡ国際共同治験を実施しております。

スイスVifor(International)AGから導入いたしました鉄欠乏性貧血治療剤「Z-213」につきましては、フェーズⅢを開始いたしました。

なお、国内における「Entocort®」の開発につきましては、昨年10月に製造販売承認申請を実施いたしました(商品名「ゼンタコート®」)。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、引き続き西洋ハーブ製剤の開発を進めるとともに、新製品を順次発売いたしました。

グループ会社のTillotts Pharma AGは欧州を中心に下部消化器疾患治療薬の開発を進めております。

新技術を適用した改良型メサラジン製剤(同社開発番号「TP05」)につきましては、潰瘍性大腸炎を対象として、欧州・カナダにおいてフェーズⅢを実施しております。

米国Cancer Prevention Pharmaceuticals, Inc.と共同開発中の家族性大腸腺腫症治療剤(同「TP09」)につきましては、欧州・米国においてフェーズⅢを実施しております。

これらの活動の結果、当連結会計年度の研究開発費は前年度実績から減少し、85億79百万円(前期比13.2%減)となりました。

研究開発パイプライン

● 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

（平成28年6月29日現在）

1）消化器系分野

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序 および 特長	起源
承認申請中	ブデソニド（予定販売名：ゼンタコート®）	アストラゼネカ	クローン病	糖質コルチコイド	導入品
申請準備中	Z-206／メサラジン（アサコール®用法・用量追加）	ゼリア（協和発酵キリンとの共同開発）	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整製剤	自社（Gr）品
フェーズⅡ（アジア共同治験）	Z-360	ゼリア	膵臓癌	ガストリンCCK2受容体拮抗作用	自社品
フェーズⅡ	Z-215	ゼリア	酸分泌関連疾患	長時間作用型プロトンポンプ阻害剤	導入品

2）その他の分野

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序 および 特長	起源
フェーズⅢ（アジア共同治験）	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅢ	Z-213／Ferric carboxymaltose	ゼリア	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序 および 特長	起源
承認申請中（中国）	Z-206／メサラジン	ゼリア・Tillotts Pharmaの共同開発	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整製剤	自社（Gr）品
フェーズⅢ（欧州）	Z-338／アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ（アジア）	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅢ（欧州・カナダ）	TP05／メサラジン	Tillotts Pharma	潰瘍性大腸炎	OPTICORE DDS技術	自社（Gr）品
フェーズⅢ（欧州・米国）	TP09／CPP-1X・スリンダク	Tillotts Pharma（Cancer Prevention Pharmaceuticalsとの共同開発）	家族性大腸腺腫症	ポリアミン生合成抑制	導入品
フェーズⅡ終了（北米）	Z-338／アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ（アジア）	Z-360	ゼリア	膵臓癌	ガストリンCCK2受容体拮抗作用	自社品

自社（Gr）品：自社グループオリジナル品

ご参考

フェーズⅠ（第Ⅰ相臨床試験）

動物実験を終えて効き目（有効性）と安全性が確認された「薬の候補」は、少人数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。

フェーズⅡ（第Ⅱ相臨床試験）

第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少人数の患者さんで「薬の候補」の効き目（有効性）、副作用（安全性）、投与量、投与方法などの適切な使用方法をプラセボ※と比較しながら調べます。

フェーズⅢ（第Ⅲ相臨床試験）

多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目（有効性）、副作用（安全性）、および使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、プラセボと比較する試験を行います。多くの場合、二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

※プラセボ　有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

生産物流の状況／次期の見通し

● 生産物流の状況

生産物流部門におきましては、品質の確保を第一として業務を進めてまいりました。生産関連部門では、より高い品質の確保を目指すとともに製造原価の低減をメインテーマとして業務を進めてまいりました。一方、物流関連部門では、物流業務のアウトソーシングを実施する中、さらなる業務の効率化とコストの低減に努めてまいりました。

なお、埼玉工場では、需要の拡大が見込まれるOTC医薬品など当社製品の安定供給のため、生産能力の増強を目的としたリニューアル工事を行ってまいりましたが、平成28年3月に終了し、順次操業を開始しております。また、筑波工場においても需要の拡大が見込まれるドリンク剤の安定供給のため、リニューアル工事を開始いたしました。

● クローズアップ

「コンドロイチンZS錠®」をリニューアル

「コンドロイチンZS錠®」は、1964年に発売されて以来、50年以上にわたり内服の関節痛・腰痛治療薬として膝の痛みや腰の痛みでお悩みの多くの生活者の皆さまにご支持いただいてまいりました。

これまでにお寄せいただいた、錠剤が大きく服用しにくいとの声にお応えして、錠剤の小型化について研究を重ね、有効成分コンドロイチン硫酸エステルナトリウムの含量（1錠中260mg、1日量6錠中1,560mg）は従来品と変えることなく、錠剤を小型化しより服用しやすい製剤とすることができました。あわせて、甘味剤を従来のサッカリンナトリウムからアセスルファムカリウムに変更し、香料も低減して、より服用しやすい香味といたしました。

● 次期の見通し

平成29年3月期（平成28年度）の連結業績予想につきましては、売上高660億円（前期比5.6％増）、営業利益48億円（前期比5.1％増）、経常利益46億円（前期比3.4％増）、親会社株主に帰属する当期純利益36億円（前期比2.5％増）と増収・増益を見込んでおります。

売上高

医療用医薬品事業におきましては、国内においては薬価引き下げや後発品の影響を受けて厳しい状況が続くものの、海外における潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」の伸長および炎症性腸疾患治療剤「Entocort®」の通年での寄与、国内での機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド®」の市場構築などにより、増収を見込んでおります。また、コンシューマーヘルスケア事業におきましても、新製品の寄与などによる「ヘパリーゼ®群」、「コンドロイチン群」などの伸長を主要因として、増収を見込んでおります。

利　益

国内外で実施している治験の進捗などにより研究開発費が引き続き高水準で推移することや広告宣伝費などの増加を見込んでおりますが、主力製品の売上高の増加により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに増益を見込んでおります。

	第62期	第63期（予想）
売上高	624億75百万円 （前期比 2.4%増）	660億円 （前期比 5.6%増）
営業利益	45億65百万円 （前期比 70.4%増）	48億円 （前期比 5.1%増）
経常利益	44億50百万円 （前期比 60.7%増）	46億円 （前期比 3.4%増）
親会社株主に帰属する当期純利益	35億13百万円 （前期比 37.4%増）	36億円 （前期比 2.5%増）

株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待を行っております。
当社株式1,000株以上をご所有の株主様にはA～F、6つのコースからご希望のいずれかを、100株以上1,000株未満をご所有の株主様にはGコースをお届けいたします。
なお、2016年3月末基準日よりFコースを追加しました。
ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

A コース

清涼飲料水・指定医薬部外品・特定保健用食品

「アルミ缶入りドリンク・ヘパリーゼ®Wセット」

B コース

健康飲料

「コンドロビー®濃縮液潤甦®(じゅんこう)」2本セット

C コース

美容・健康商品

「コンドロマックス®・アポスティー®セット」

D コース

コンドロイチン配合夜間集中美容液

「ZZ:CC®(ジージー・シーシー)アドソーブエッセンス(30g)」2本セット

*本製品はゼリアオンラインショップ(http://www.zeriaonline.com/)でお買い求めいただけます。

E コース

上質なうるおいを実感する3品目

「IONAベーシックスキンケア3点セット」

F コース

高純度コンドロイチン、天然イオン配合で年齢肌にハリとうるおいを

「イオナR スペシャルケア2点セット」

*本製品はゼリアオンラインショップ(http://www.zeriaonline.com/)でお買い求めいただけます。

G コース

肝臓エキス・ウコンエキス配合ドリンク

「ヘパリーゼ®W」10本

Tillotts Pharma AGがクローン病治療剤「Entocort®」の権利を取得

当社の100％子会社であるスイスのTillotts Pharma AGが平成27年7月8日付で、AstraZenecaが販売していたクローン病治療剤「Entocort®」（一般名：ブデソニド）の米国を除く全世界における権利を取得しました。

「Entocort®」は、クローン病を適応として40ヵ国以上で承認販売されているステロイド剤で、クローン病治療の第一選択薬として市場が確立されている製品です。炎症を起こしている消化管の局所で作用するために、副作用が発現しにくいことが特長となっています。

今回の権利取得によって、Tillotts Pharma AGは潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」に加えてクローン病治療剤「Entocort®」を販売することが可能となり、消化器領域で一層のプレゼンスを示すと共に、「Entocort®」の販売地域の拡大を通して、欧州を中心としたTillotts Pharma AGの事業基盤の強化ならびに当社グループの一層の発展への寄与が期待されます。

なお、日本では「ゼンタコート®」として当社が製造販売承認申請中で、承認後は潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」と合わせて、国内における炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎およびクローン病）の治療に一層貢献することができるものと考えております。

「ヘパリーゼ®Wプレミアム」新発売

コンビニエンスストア向け清涼飲料水ヘパリーゼ®Wシリーズの新製品として、平成28年3月21日から「ヘパリーゼ®Wプレミアム」を全国のコンビニエンスストアで販売開始しました。

当社では、ヘパリーゼ®ブランドのコンビニエンスストア向け製品として、清涼飲料水「ヘパリーゼ®W」、同「ヘパリーゼ®Wハイパー」、炭酸飲料「ヘパリーゼ®Wスパークリング」、指定医薬部外品ドリンク「ヘパリーゼ®アミノ」および栄養補助食品「ヘパリーゼ®W<粒タイプ>」を全国のコンビニエンスストアで発売し、大変好評をいただいております。

このたび、肝臓エキス配合量を「ヘパリーゼ®W」の2.5倍に増量した「ヘパリーゼ®Wプレミアム」をラインアップに加え、健康を気遣う方々をサポートしてまいります。

「ヘパリーゼ®Wプレミアム」の特長

■ **「ヘパリーゼ®W」シリーズ最上級のプレミアムなドリンク**

「ヘパリーゼ®W」シリーズでの最高量となる肝臓エキス250mg、コンドロイチン100mgを配合。また、ウコンエキス（クルクミンとして45mg）を配合した、ここぞという日のプレミアムな「ヘパリーゼ®W」です。

■ **すっきりとしたアップル味**

すっきりとしたアップル味に仕上げました。肝臓エキスを増量しても、これまで同様おいしく飲みやすい味となっています。

■ **他にもうれしい成分はそのまま**

ウコンエキス（クルクミン）の吸収を高める黒コショウ抽出物とビタミン類を配合しました。

財務諸表（連結）

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科目 ＼ 期別	前連結会計年度 平成27年3月31日現在	当連結会計年度 平成28年3月31日現在
[資産の部]		
流動資産	**45,680**	**39,695**
現金及び預金	18,012	12,343
受取手形及び売掛金	16,241	14,763
たな卸資産	8,189	8,013
繰延税金資産	943	744
その他	2,312	3,869
貸倒引当金	△18	△39
固定資産	**50,587**	**79,482**
有形固定資産	**22,021**	**23,274**
建物及び構築物	7,092	8,428
機械装置及び運搬具	2,008	2,635
土地	11,579	11,671
建設仮勘定	940	143
その他	401	394
無形固定資産	**12,344**	**35,783**
投資その他の資産	**16,221**	**20,424**
投資有価証券	9,731	12,471
繰延税金資産	85	13
退職給付に係る資産	5,400	7,113
その他	1,049	870
貸倒引当金	△44	△43
資産合計	**96,268**	**119,178**

科目 ＼ 期別	前連結会計年度 平成27年3月31日現在	当連結会計年度 平成28年3月31日現在
[負債の部]		
流動負債	**21,911**	**48,245**
支払手形及び買掛金	2,383	2,041
短期借入金	11,572	39,037
その他	7,954	7,166
固定負債	**11,786**	**6,865**
長期借入金	10,636	4,653
退職給付に係る負債	371	643
資産除去債務	74	75
その他	705	1,492
負債合計	**33,697**	**55,110**
[純資産の部]		
株主資本	**55,697**	**56,454**
資本金	**6,593**	**6,593**
資本剰余金	**12,716**	**12,055**
利益剰余金	**36,392**	**37,810**
自己株式	**△3**	**△4**
その他の包括利益累計額	**6,872**	**7,280**
その他有価証券評価差額金	**1,474**	**879**
為替換算調整勘定	**3,994**	**4,212**
退職給付に係る調整累計額	**1,403**	**2,188**
非支配株主持分	**-**	**332**
純資産合計	**62,570**	**64,067**
負債・純資産合計	**96,268**	**119,178**

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科目 ＼ 期別	前連結会計年度 平成26年4月 1日から 平成27年3月31日まで	当連結会計年度 平成27年4月 1日から 平成28年3月31日まで
売上高	61,012	62,475
売上原価	18,521	17,930
売上総利益	42,491	44,544
返品調整引当金戻入額	110	62
返品調整引当金繰入額	62	58
差引売上総利益	42,539	44,548
販売費及び一般管理費	39,861	39,982
営業利益	2,678	4,565
営業外収益	338	352
営業外費用	246	467
経常利益	2,770	4,450
特別利益	1,507	1,091
特別損失	457	280
税金等調整前当期純利益	3,819	5,262
法人税、住民税及び事業税	1,315	602
法人税等調整額	△53	1,127
当期純利益	2,557	3,532
非支配株主に帰属する当期純利益	-	18
親会社株主に帰属する当期純利益	2,557	3,513

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

（単位：百万円、端数切捨て）

科目 ＼ 期別	前連結会計年度 平成26年4月 1日から 平成27年3月31日まで	当連結会計年度 平成27年4月 1日から 平成28年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	653	5,694
投資活動によるキャッシュ・フロー	475	△32,709
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,839	22,416
現金及び現金同等物に係る換算差額	177	△1,070
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,533	△5,669
現金及び現金同等物の期首残高	22,070	17,880
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	343	-
現金及び現金同等物の期末残高	17,880	12,210

連結株主資本等変動計算書（要旨）

（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）

（単位：百万円、端数切捨て）

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	6,593	12,716	36,392	△3	55,697	1,474	3,994	1,403	6,872	-	62,570
会計方針の変更による累積的影響額		△660	△501		△1,162		△95		△95		△1,258
会計方針の変更を反映した当期首残高	6,593	12,055	35,890	△3	54,535	1,474	3,898	1,403	6,776	-	61,312
当期変動額											
連結範囲の変動					-						-
剰余金の配当			△1,593		△1,593						△1,593
親会社株主に帰属する当期純利益			3,513		3,513						3,513
自己株式の取得				△0	△0						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△595	314	784	503	332	835
当期変動額合計	-	-	1,920	△0	1,919	△595	314	784	503	332	2,755
当期末残高	6,593	12,055	37,810	△4	56,454	879	4,212	2,188	7,280	332	64,067

会社情報（平成28年3月31日現在）

会社概要

創立	1955年12月
資本金	6,593,398,500円
社員数	1,799名（連結）
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売および輸出入
	2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売および輸出入

役員（平成28年6月29日現在）

代表取締役 会長兼CEO	伊部幸顕
代表取締役 社長兼COO	伊部充弘
取締役副社長	遠藤広和
常務取締役	岸本誠
取締役	大野晃
取締役	小森哲夫
取締役	深堀勝博
取締役	加藤博樹
取締役	平賀義裕
取締役	石井克幸
取締役	横手秀和
取締役	河越利明
取締役	吉島光之
常勤監査役	高見幸二郎
常勤監査役	降旗繁弥
監査役	中由規子
監査役	若林博史

事業所

- 本社
- 札幌支店
- 仙台支店
- 東京支店
- 東京第3営業所
- 神奈川第1・第2営業所
- 埼玉営業所
- 千葉営業所
- 北関東営業所
- 甲信越営業所
- 名古屋支店
- 静岡営業所
- 大阪支店
- 大阪第2営業所
- 神戸営業所
- 京滋営業所
- 北陸営業所
- 中四国支店
- 岡山営業所
- 高松営業所
- 福岡支店
- 中央研究所
- 埼玉工場
- 筑波工場
- 東京物流センター
- 札幌物流センター
- 埼玉物流センター
- 大阪物流センター
- 九州物流センター

- 出張所　青森・宇都宮・関越・高崎・山口・米子・松山・高知・長崎・熊本・大分・鹿児島・沖縄

連結子会社　12社

- Tillotts Pharma AG（スイス）
- ZPD A/S（デンマーク）
- ゼリアヘルスウエイ株式会社
- Tillotts Pharma AB（スウェーデン）
- Tillotts Pharma Ltd.（アイルランド）
- Tillotts Pharma UK Ltd.（英国）
- Tillotts Pharma Czech s.r.o.（チェコ）
- Tillotts Pharma Spain S.L.U.（スペイン）
- Tillotts Pharma GmbH（ドイツ）
- イオナ インターナショナル株式会社
- 株式会社ゼービス
- Pharmaceutical Joint Stock Company of February 3rd（ベトナム）

株式情報（平成28年3月31日現在）

株式の状況

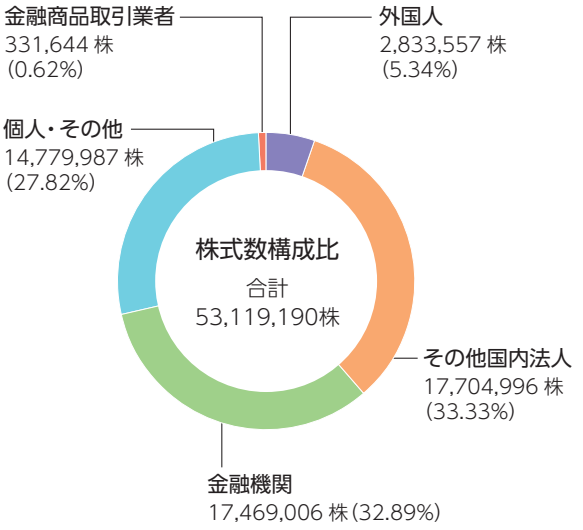
①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	53,119,190株
③株主数	16,919名

大株主

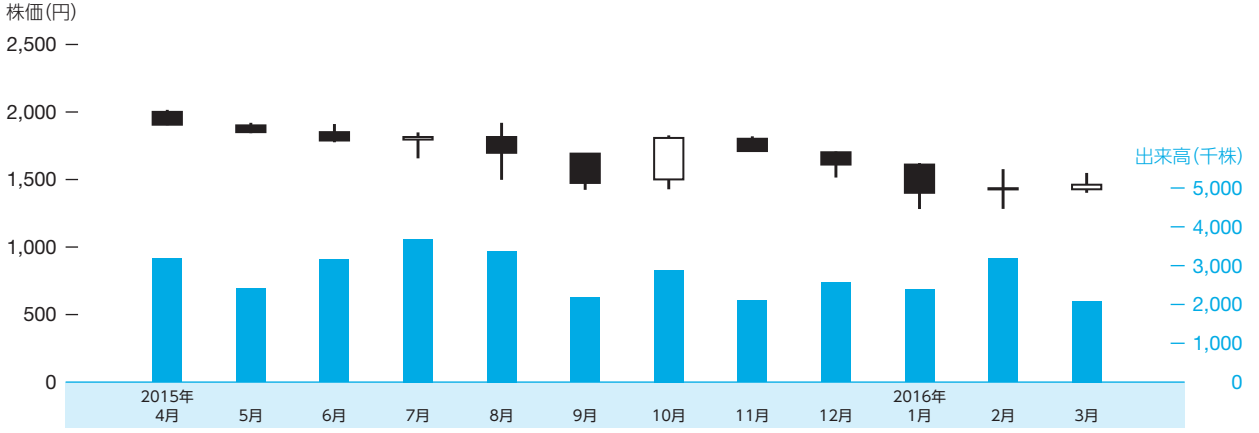
株　主　名	持株数(株)	出資比率(%)
有限会社伊部	4,741,847	8.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,609,900	4.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,107,050	4.0
森永乳業株式会社	2,040,215	3.8
伊部幸顕	1,592,967	3.0
ゼリア新薬工業従業員持株会	1,433,864	2.7
株式会社三井住友銀行	1,406,131	2.6
株式会社みずほ銀行	1,406,053	2.6
株式会社りそな銀行	1,182,385	2.2
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	944,560	1.8

(注)出資比率については、自己株式(3,871株)を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



株価および出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当　毎年3月31日 中間配当　毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 （電話照会先）	〒168−0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 電話　0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください

当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。

http://www.zeria.co.jp/

ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351（代表）　FAX 03-3663-2352
03-3661-2080
http://www.zeria.co.jp/

健康づくりは幸せづくり
ゼリア新薬
ZERIA